

<機械・農作業の共同化に取り組む事例>

○美しい棚田景観の維持と都市住民との交流

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	茨城県常陸太田市 <small>ひたちおおたし</small> 西河内中 <small>にしごうとなか</small>			
協定面積 1.4 ha	田 (100%) 米	畑	草地	採草放牧地
交付金額 29万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	農用地の維持管理費		51%
		農道の維持管理・補修等		36%
		役員報酬		13%
協定参加者	農業者 12人			開始:平成12年度

2. 取組に至る経緯

当集落は、美しい棚田をはじめ、自然豊かな土地である一方で、高齢化や担い手不足が深刻な問題となっており、耕作放棄地の発生が懸念されている。また、イノシシ等による農作物の被害が増加し、個人での対応は難しくなっているため、当制度を利用し、共同での作業や電気柵の設置に取り組むこととした。

3. 取組の内容

当集落は、動力噴霧器を共同購入し、年に1回共同で薬剤を散布することで、病害虫の発生を抑制している。電気柵も共同で購入し、協定農用地を取り囲むように約900mにわたり設置し、イノシシ等の被害防止に効果を挙げている。

また、平成21年より、協定農用地近くの耕作放棄地を利用し、東京の早稲田塾（私立予備校）の塾生たちを受け入れ、無農薬米栽培等を始めた。平成22年からは、集落協定のメンバーが中心となり、早稲田塾農業体験サポート会（約70名）を立ち上げるなど、都市住民との交流を積極的に実施している。



【集落全景（棚田）の様子】



【農業体験の様子】

[集落の将来像]

農業者の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地が発生しないように、機械・農作業の共同化を図り、農業生産活動を持続する。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・ 協定農用地における適正な農業生産活動を持続する。
- ・ 共同取組活動により水路・農道管理を継続する。

[活 動 内 容]

農業生産活動等

農地の耕作・管理 (田 1.4ha)

個別対応

水路・農道の管理
・水路 130m、年 2 回及び随
時 清掃、草刈り

共同取組活動

農地法面の点検
(年 2 回及び随時)

共同取組活動

鳥獣害防止対策
(電気柵の設置 900m)

共同取組活動

多面的機能増進活動

景観形成作物の作付

共同取組活動

都市住民との交流
(協定農用地近くの耕作放
棄地に予備校の塾生を受け
入れ)

共同取組活動

農業生産活動の体制整備

機械農作業の共同化
(動力噴霧器の共同利用に
より病虫害防除)

共同取組活動

新規就農者の確保
(5年以内に1人)

共同取組活動

集落外との連携

- 都市住民との交流のため、早稲田塾サポート会に参加し、地域の活性化に貢献している。
- 本地域の美しい景観が評価され、映画「ディア・ドクター」のロケが行われた。

4. 今後の課題等

協定活動を継続することで、農地の管理保全が適正に行われ、美しい棚田景観が保たれているので、今後も今の活動を継続していく。

[第2期対策の主な効果]

- 共同作業を行うことで、地域のまとまりができた。
- 都市住民との交流による地域の活性化
- 機械・農作業の共同化 (H21実績: 14,057㎡)、多面的機能の発揮に向けた他集落との連携